大阪大英語を受講する皆さんへ

大学別の対策集の冒頭に，こういう宣言をするのは，どうかなとも思いますが，あくまで傾向や対策は，傾向と対策にすぎません。すなわち，傾向と対策を知れば受かるのではなく，最短の道がわかる，少しでも点数を高く取るためのものです。

やはり，阪大の合格に必要なのは，解き方や読み方といった小手先のテクニックではなく，しっかりした英語力，どんな問題にもぶれない英語力なんです。そこはどうしても，誤魔化したくなかったので，授業では，徹底してそこを追求させてもらいます。合格するのに必要なのは，必殺ルールのような小見出しではなくて，**徹底した語彙力**と**音読により培った英文処理のスピード**と**確かな文法力に基づいた構文把握力**に**文と文のつながりを理解する論理力**です。

また，従来の対策集では，体系化されていない大問１問載せているだけでしたが，あえて**捨て問は外して**，正解しなければいけない問題・正解すべき問題に厳選して，**体系化して効率性を重視**しました。阪大の入試問題は，満点を取る必要はありません。７割取れば受かるのであって，合格するには，それを全科目満たせばよいのです。

授業を受動的に聞くだけでは，自分で問題を解ける力はつきません。必ず予習して，授業を受け終わったあとの復習を何より重視してください。新出の単語・文法事項を覚える・文章を 10 回音読するといった地道な作業を 10 回続けてみてください。**復習テストをすべて突破して**，10 講分やり終えたあとには，必ずや阪大の合格に近づいている自分が実感できるはずです。

肘井　学

テキストの特徴

授業を聞くだけでは，自分で実際の問題を解ける本物の力はつかないので，皆さんの復習を前提とした構成となっています。

それを手助けするために，読解の巻末に**重要語彙リスト**を付けています。ここから**直接復習テストに出ます**ので，すべて必ず覚えてください。**単語力はすべての英語力の源**です。

さらに，授業後の復習に音読するための白文を読解の講の巻末につけていますので，必ず授業後に，①全文構文把握⇒②単語暗記⇒③本文 10 回音読の復習を欠かさずやってください。

次に，英作文の分野はただ板書しただけだと，何を覚えてよいかわからないので，**Input Sheet を解答の各講の最後に掲載**して，**何をどのように覚えたらよいかを明らかに**にしました。右を隠して，答えを出せるように何度も繰り返してください。

大阪大の過去問のみならず，大阪外国語大の過去問もかなり使用していますが，2008 年度に，統合されて，大阪大学外国語学部となるまでの出題であり，非常に良問が多く力がつきますので，ぜひ真剣に取り組んでください。

目次

第 0 講	予習復習方法	p.3 ～ p.9
第 1 講	下線部和訳演習①	p.10 ～ p.17
第 2 講	下線部和訳演習②	p.18 ～ p.25
第 3 講	長文総合問題①	p.26 ～ p.33
第 4 講	長文総合問題②	p.34 ～ p.45
第 5 講	長文総合問題③	p.46 ～ p.55
第 6 講	長文総合問題④	p.56 ～ p.63
第 7 講	和文英訳演習①	p.64 ～ p.69
第 8 講	和文英訳演習②	p.70 ～ p.75
第 9 講	和文英訳演習③	p.76 ～ p.81
第 10 講	自由英作文演習	p.82 ～ p.85

第０講　予習復習方法

一　予習について

＊授業で扱う文は，解法や読み方を学ぶためだけのものではなくて，そこに出てきた単語・熟語・構文すべてを学び取るもの。その文章で出てきた単語・熟語・構文は，必ず次の文にも出てくるものです!!

① 問題を解く（**長文は１問30分**と時間を決めて解く）
② 全文構文を把握しながら，意味をとっていく
③ わからない単語の意味を辞書で調べて，テキストに書き込む。授業は単語の意味合わせではないので，このことだけはしっかり予習段階でやってくるようにお願いします。
④ 前置詞の作るかたまりを特定する
⑤ 接続詞のつないでいるものを特定する（and, but, or）
⑥ 代名詞・指示語が何を指すか特定する（it, they, them, this）
⑦ 関係詞節の範囲を特定する
⑧ 不定詞の３用法を特定する
⑨ 分詞の名詞修飾を特定する

④～⑨は，授業内で毎回指摘するので，予習時にやっておいて，授業は自分の精度の確認にしてください。

二　講義について

①板書を急いで取ること。ぼくが黒板に書き始めた途端に，急いでノートを取ってください。役に立たない内容は板書しないので，これ見ているだけでよいよといった板書以外は，しっかりノートに取ってください。書いて覚えるというメリットもあります。全訳はしないこと。解答にすべてあります。わからない部分だけの書き込みにすること。**板書の書き出しに，ぼくと板書が重なって見えない時は，書き終えたら必ず見えるアングルに移動しますので，あわてずに，見えるようになってから板書をスタートしてください**。板書が書ききれない場合は，動画を一度止める・巻き戻すなどして，書き取ってください。これも映像授業のメリットです。

②授業中眠くなる時があるのは，ぼくもいたいほどわかります。ただし，こらえること。講義動画は，30 分前後で一本にあえて区切ってあります。

三　復習について

＜作文編＞

授業では徹底して頭を使って，理解することに重点を置きました。復習では，**頭を使いながら，やはり繰り返すこと**が重要です。解答の最後のInput Sheetに，何を覚えるかを明らかにしてありますので，板書とそちらを見ながら，何度も繰り返して，知識を定着させてください。

＜読解編＞

毎年毎年，奇跡的な合格を果たしている生徒たちに伝授している秘伝です。何千人も生徒を教えてきて，これ以上に，成績を上げる方法は，いまだ思いつきません。といっても，急に奇跡が起こるようなそんなおいしい話なんてなくて，ぼくが練りに練り上げたその方法は，毎日毎日，ひたすら地道な作業を繰り返していくだけです。**一つの文章に対する密度を上げる**，それが遠回りに見えて，最も合格に近い道であることは，今までのぼくの生徒たちが証明してくれています。

復習その一　本文全体の構文把握

授業中に入れたスラッシュや括弧を利用して，全訳と照らし合わせて，SVはどれか，どこからどこまで一つの意味のかたまりで，どこがどこを修飾しているかを確認して，意味をとっていく。

復習その二　知らない単語を，すべて覚える

解答の各講の最後にある重要語彙リストを利用して，

① **日本語とセットで**，英語／日本語の順に，3回**書いて覚える**

② **日本語とセットで**，英語／日本語の順に，10回**唱えて覚える**

⇒　2，3回繰り返しただけで，覚えられない，暗記が苦手と嘆かないこと！　暗記に必要なのは，繰り返すこと。英語のできる子たちは，人より多く繰り返しているだけです!!

復習その三　文章を10回（長い文章は5回）音読する

音読の具体的な方法論と効果を説明します。

① 解答の各講の後ろにある音読用英文で，一回読むごとに右上の数字に一つ斜線を入れていく。
② 次に，自分なりの発音でよいから，一文目を発声する（自習室では，自分だけに聞こえる程度の声で）。
（参考）He could not explain the reason for his instinctive avoidance of them.
（ヒークゥドノットイクスプレインザリーズン・フォーヒズインスティンクティヴアヴォイダンスオヴゼム）
③ 次に，構文を追いながら，意味を頭で考える。
（参考）彼は，彼が本能で彼らを避ける理由を説明できなかった。
④ この手順で，最後まで読む。数字の 1 に斜線を入れて，10 回繰り返す。

効果としては，まず**単語を生きた状態で学べる**。単語一つを覚えるのも重要ですが，それだけだと死んだ単語。文章中で出てきても，意味が思い出せない，何だか意味が取れないと思ったことありますよね。

次に，**正確な構文力がつく**。構文の処理を 10 回も繰り返せば嫌でも得意になります。

最後に，実はこの方法論こそが，皆さんが求める速読への最大の近道なんです !! 一回目に読んだときの大変さ，遅さ，それは単語の記憶があいまいなせいで，構文を取るのが遅くて不正確なせいで，読むのが遅いんです !!

10 回目に読んだ時のスピードと比較してみてください。10 回目はなんと早く読めることでしょうか。単語の意味が正確に出てきて，構文をすばやく取れる，それが速読の真の正体なんです !!　英語を英語のまま理解できるという状態に達するのは，音読で徹底して繰り返した時に起きる現象なんです。

単語個の力と，文章の中で覚えた生きた単語力，その相乗効果こそが，最高に英語が得意になる秘訣なんです !!

あとは，これを一日一文，一週間で 5 文やってみてください。早い人で 3 カ月で見違えるような効果が生まれてきます。ぼくの英語の授業を完成させるかどうかは，皆さんの復習次第です。

四　復習テストについて

この授業の趣旨を理解していただいた皆さんは，いかに復習が大切で，復習こそが英語力を高める最大の近道であるかに気づいていただいたはずです。**授業を終えたあとこそ一番大事**，椅子に座って話を聞いて満足するだけじゃなく，そのあとに自ら能動的に動くこと＝復習することが一番大切なんです。ところが，人間一人ではなかなか気持ちを持ち続けることが難しいために，その復習をぼくたちが徹底してサポートして，二人三脚でこの最も大事な復習を続けていきます。

そのために，次の授業の前に，**前回のチェックテスト**を実施してください。作文編は，日本語を英語になおす訓練を重ねていきます。読解編は，授業で指摘したポイントの確認，解答の最後にある重要語彙リストからの出題で，しっかり音読と語彙の定着がなされているかをチェックしていきます。いずれも，前回やった内容からの出題なので，満点で先に進んでください。

すべては，第一志望校に受かるため，英語力をつけるための最短の道と理解して，必死で臨んでください。

NOTE

NOTE

第１講　　下線部和訳演習①

今日のポイント

次の下線部を和訳しなさい。

⑴ We cannot persuade ourselves — in fact, we make no attempt to do so — that undertakings which ended in failure were entered upon with just as much forethought and optimism as those which have profoundly affected our lives.

(　　　)

⑵ Any grouping of human beings has its own world : a certain range of knowledge and certain modes of evaluation. Such a worldview is subject to constant modification as time rolls on. Nor can its association with the particular grouping prevent it from being adopted, to a greater or a lesser extent, by members of some other grouping.

(　　　)

(3) In the beginning, we may suppose, there was silence. There was silence because there was no motion, and therefore no vibration could move the air — a phenomenon of fundamental importance in producing sound. <u>The creation of the world, however it came about, must have been accompanied by motion and, therefore, sound</u>.

( )

NOTE

☆　エンドフォーカス一覧

① S follow O ⇒ O′ be followed by S′.　O′の次にS′がくる。

② S survive O ⇒ O′ be survived by S′.　O′の遺族はS′だ。

③ S mark O ⇒ O′ be marked by S′.　O′の特徴はS′がくる。

④ S accompany O ⇒ O′ be accompanied by S′.　O′に伴ってS′がある。

(4) When asked what teachers perceive to be the cause of this situation, most of them point straight at new inventions, such as e-mail, cell phones, and *instant messaging, wholeheartedly believing them to be the source of any perceived decline in youth literacy.

*instant messaging「インスタント・メッセージ」(対話やメッセージのやりとりができるインターネット上の機能)

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(5) Variation in dialect, and especially in pronunciation, is a subject about which most people are quite willing to express an opinion when invited to, and many people are without being asked to.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(6) (ニューメキシコの魅力に関する文章)

What is there, more forcefully still, that has seized upon astonishing numbers of people who came to look, and then put down their luggage and remained? As it has upon me.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

NOTE

☆　省略頻出ルール

① 接続詞 + S be

② 代不定詞

③ 既出表現の反復を避ける

(7) I think surprise feels like an emotion to most people. <u>In that moment before we figure out what is occurring and regain control of our emotions, surprise itself can feel good or bad</u>.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(8) <u>During nearly all the years since man first developed writing and civilization began, he thought of himself and of his community in ways quite different from those familiar to us today. He tended to see the passage of time, not as a series of unique, irreversible moments of change, but rather as a continuous repetition of familiar moments</u>.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(9) Speech is such a familiar part of daily life that we rarely pause to consider what it is. <u>It seems as natural to humans as walking, and only less so than breathing. Yet it needs just a moment's reflection to convince us that this naturalness of speech is but an illusion</u>.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

NOTE

大学別対策講座　大阪大英語　復習テスト　第一回

＊下線部を日本語に訳しなさい。

１. We cannot persuade ourselves that undertakings which ended in failure were entered upon with just as much forethought and optimism as those which have profoundly affected our lives.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

２. Variation in dialect is a subject about which most people are quite willing to express an opinion when invited to, and many people are without being asked to.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

３. It needs just a moment's reflection to convince us that this naturalness of speech is but an illusion.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

＊次の英語の意味を答えなさい。

４. be subject to　(　　　　　　　　　　)
５. evaluation　(　　　　　　　　　　)
６. modification　(　　　　　　　　　　)
７. association　(　　　　　　　　　　)
８. be accompanied by　(　　　　　　　　　　)
９. seize upon　(　　　　　　　　　　)
10. figure out　(　　　　　　　　　　)
11. irreversible　(　　　　　　　　　　)
12. passage　(　　　　　　　　　　)

NOTE

大学別対策講座　大阪大英語　解答編

本講座では，解答編もただ答えを載せるものではなく，徹底して受講生の復習を意識した構成にしました。

読解編では，各講の最後に，重要語彙リスト，音読用の白文を掲載しました。必ず授業後に，①全文構文把握　⇒　②単語・熟語の暗記　⇒　③本文音読 10 回を繰り返してください。音読用白文の表題の所に，①～⑩までの数字を明記していますので，１回音読するごとに，番号を消して，必ず一つの文を 10 回音読してください。音読こそが，速読，語彙の定着等，全ての道を切り開いてくれます。

作文編では，何を覚えるかを明らかにした Input Sheet を７～ 10 講の終わりに掲載しました。何度も繰り返して, 自分で知識を使える状態に仕上げてください。

復習こそが，英語学習で最も重要なポイントです。授業を聞いて分かったという状態から，自分でできるという状態こそゴール地点だと改めて，確認してください。10 講分終えたあとの充実感，英語の力の圧倒的向上を楽しみに，頑張ってください。

肘井　学

※掲載内容について
本書に収録された解答・解説はスタディサプリが独自に作成したものです。

大阪大英語　第１講　解答

＜解答・全訳＞

⑴　我々は，失敗に終わった仕事も，我々の人生に深く影響を与えたものと丁度同じくらいの見通しや明るい展望をもって始めていたということを納得できていないし，実は納得しようともしていない。

⑵　人間のいかなる集団にもそれ独自の世界がある。ある種の様々な知識やある種の評価方法だ。そのような世界観は時間が経過するにつれ，絶えず修正されていかなければならない。またそれが特定の集団と関わりがあるからといって，程度の差はあれど，他のある集団のメンバーが，取り入れられないということはない。

⑶　初めに，沈黙があったと仮定してよい。動きがないから沈黙があり，それゆえ，どんな振動も空気を動かせなかった，それは音を作り出す際に根本的に重要な現象だ。たとえ世界がどのように生じたとしても，世界を創造するのに伴って，動き，それゆえ音があったに違いない。

⑷　教師は何がこの状況の原因であると考えるかを尋ねられると，彼らのほとんどが新しい発明品をすぐに指摘する，例えば電子メール，携帯電話，インスタントメッセージなど。そして，それらが，あらゆる認識される若者の識字率低下の原因であると心底信じている。

⑸　方言，特に発音の多様性は，ほとんどの人がそう求められると，すすんで意見を表明する話題であり，多くの人が頼まれなくても，すすんで述べている。

⑹　さらにもっと強く，この地を見に来て，荷物をおろし，留まる驚くべき数の人の心をつかむ何があるのか。それが私の心をつかんだように。

⑺　私は驚きとはほとんどの人にとってある感情のように感じ取れるものだと思う。私達が起きていることを理解し，感情を再びコントロールできる以前の瞬間に，驚きそのものは良くも悪くも感じ取れる。

⑻　人間が最初に文字を作り出し，文明が始まって以来のほぼ全ての年月において，人間は自分自身や自分の所属する社会を現代の我々になじみがある方法とは全然違う方法で考えていた。人間は時が経過するのを一連の独立した戻すことのできない変化の瞬間ではなくて，むしろ覚えのある瞬間がたえず繰り返されるものと見なす傾向にあった。

⑼　話すことは日常生活の非常に慣れ親しんだ一部であるので，我々は立ち止まってそれが何なのか考えることはめったにない。それは人間にとって歩くのと同じくらい当然に思えるが，呼吸することよりはどう見ても当然とは思えない。しかし，我々がこのように話すことが当然というのは，幻想にすぎないと納得するには，ほんの一時しっかり考えさえすればよい。

第１講　重要語彙リスト

1	persuade 人 that ～	人に～を説得する	23	point at	指摘する
			24	cell phone	携帯電話
2	undertaking	仕事	25	wholeheartedly	心底
3	enter upon	～を開始する	26	source	源
4	forethought	見通し	27	decline	減少
5	optimism	楽観主義	28	literacy	識字率
6	profoundly	深く	29	variation	多様性
7	a range of	様々な～	30	dialect	方言
8	mode	方法	31	subject	話題
9	evaluation	評価	32	be willing to do	すすんで～する
10	worldview	世界観	33	be invited to do	～するよう頼まれる
11	be subject to	～を受けやすい			
12	modification	修正	34	forcefully	力強く
13	roll on	経過する	35	seize upon	つかむ
14	association	関わり	36	astonishing	驚くべき
15	adopt	取り入れる	37	figure out	理解する
16	to a ～ extent	～な程度	38	regain	取り戻す
17	vibration	振動	39	civilization	文明
18	phenomenon	現象	40	passage	経過
19	fundamental	根本的な	41	irreversible	戻せない
20	come about	生じる	42	repetition	繰り返し
21	accompany O	O に伴う	43	rarely	めったに～ない
22	perceive	思う	44	reflection	熟慮

第１講　音読用白文　①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩

(1) We cannot persuade ourselves / ― in fact, we make no attempt to do so ― / that undertakings which ended in failure / were entered upon with just as much forethought and optimism / as those which have profoundly affected our lives.

(2) Any grouping of human beings has its own world : / a certain range of knowledge and certain modes of evaluation. Such a worldview is subject to constant modification / as time rolls on. Nor can its association with the particular grouping / prevent it from being adopted, / to a greater or a lesser extent, by members of some other grouping.

(3) In the beginning, we may suppose, / there was silence. There was silence because there was no motion, / and therefore no vibration could move the air / ― a phenomenon of fundamental importance in producing sound. The creation of the world, however it came about, / must have been accompanied by motion and, therefore, sound.

(4) When asked what teachers perceive to be the cause of this situation, / most of them point straight at new inventions, / such as e-mail, cell phones, and instant messaging, / wholeheartedly believing them to be the source of any perceived decline in youth literacy.

(5) Variation in dialect, and especially in pronunciation, is a subject / about which most people are quite willing to express an opinion when invited to, / and many people are without being asked to.

(6) What is there, more forcefully still, / that has seized upon astonishing numbers of people who came to look, / and then put down their luggage and remained? As it has upon me.

(7) I think surprise feels like an emotion to most people. In that moment before we figure out what is occurring / and regain control of our emotions, / surprise itself can feel good or bad.

(8) During nearly all the years / since man first developed writing and civilization began, / he thought of himself and of his community / in ways quite different from those familiar to us today. He tended to see the passage of time, / not as a series of unique, irreversible moments of change, / but rather as a continuous repetition of familiar moments.

(9) Speech is such a familiar part of daily life / that we rarely pause to consider what it is. It seems as natural to humans as walking, / and only less so than breathing. Yet / it needs just a moment's reflection to convince us that this naturalness of speech is but an illusion.